

# ミックスジュース

学級通信  
鯉沢中  
3年生  
2018年7月12日  
No. 15  
もうすぐ夏休みです



## 道徳研究授業「アイツの進路選択」



### 読み物について

中学3年生の真一と夏樹は幼なじみで、中学1年生の中頃からお付き合いをしています。その二人が進路選択という大きな壁に直面します。

真一は進路希望調査にあたり、以前希望していた進路で良いのか迷いが生じています。夏樹は、真一と同じ高校に進学することを約束していたので、真一の進路変更に戸惑いを感じます。その後、夏樹の母親からの電話で、夏樹が真一と同じ進路希望に変更したことを知らされます。真一は言いようのない不安と戸惑いを感じるのです・・・。

### Q. 次の日、真一は夏樹にどんな言葉をかけますか？



登場人物になりきり、セリフや行動を考える「役割演技（ロールプレイング）」を初めて行いました。京平さんと要くんに代表して演じてもらいました。みんなに大好評でしたね。



### 今日の授業で学んだこと、考えたこと（「本当に相手を思う」という観点で・・・）

- ☪ 相手のことを思って、夏樹は真一に合わせた。これは時には大切なことだが、進路の場合は違うと思う。今も大事だけど、やはり将来が充実していないと意味がない。自分がどうしたいかを伝えて、相手のことを考えて、考えたり行動したりするべきだと思う。
- ☪ 夏樹の言うことを尊重するべきか、お互いの将来を尊重するべきか、夏樹にとって何が良いかわからない。しかし、自分の意見を言えた真一は、相手のことを思っていたと思う。
- ☪ 相手のことを思うのは、たぶん夏樹の希望を優先して別々の高校に行くことだけど、「本当に」と言われると難しい。夏樹の「一緒にいたい」という気持ちをくむと、真一は北西に行けばよいと思うけど、それでは真一が救われない・・・。難しい。
- ☪ 自分の意志をはっきりもって、相手と話し合うことが大切だと思いました。夏樹さんは

自分の将来のことも考えた上で進路を変えたと思います。真意さんははじめから何も考えずに今になって焦り、夏樹さんが進路を自分と同じに変えたことに戸惑うのは自分勝手だと思いました。

☪ 相手を思うことに正解はないと感じた。相手をいくら思っても、すべてがわかるとは限らない。自分が絶対こうしたほうが良いと思っても、相手は嫌かもしれない。相手のことをどれだけ詳しく知っていても、わかり合えないこともあるのかもしれない。



### 7/6(金) 道徳研究授業「アイツの進路選択」(たくさんのお客さまがいらっしゃいました)

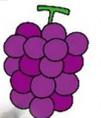


先生方の研究会で・・・

子どもたち同士の間関係が素晴らしく、心が解放されているクラスでした。「本当に相手を思うとは？」について一人ひとりが一生懸命考えていました。

などのコメントをいただきました。うれしいですね。

### 7/6(金) 平和への願いを込めて、七夕飾り(73年前のこの日に甲府空襲がありました)



#### 明日は合唱交流会

73年前、楽しいはずの8月が、一発の原爆で絶望の8月になってしまいました。みんなは修学旅行で広島を訪れ、その悲惨さを肌で感じました。